

系統WGへの報告概要

本日、系統WGへ報告した算定値のうち、主な内容（2015年度算定値）は以下のとおり。

1. 太陽光の接続可能量

- 算定手法は、「558万kW」を公表した2014年12月と同様とし、需要および再エネを含む供給力は、最新の2014年度実績に置き換え。
- 2015年1月の省令改正に伴う出力制御ルールの見直し^{※1}を反映。
 - ※1 出力制御対象の500kW未満への拡大や時間単位（年間360時間を上限）の出力制御の導入等
- 太陽光の接続可能量（2015年度算定値）の算定結果は660万kW。

2015年度算定値	(参考) 2014年度算定値
660万kW	558万kW

2. 風力の接続可能量

- 太陽光の接続可能量は、【A】558万kW（2014年度算定値）および【B】660万kW（2015年度算定値）の2ケースを前提とし、風力の出力制御方法2ケース（下表①および②）における風力の接続可能量を計4ケース算定。
- 風力の接続可能量（2015年度算定値）の算定結果は102～305万kW。

【風力の出力制御方法】

①現行制度	2015年1月の省令改正 ^{※2} 前の 申込分は日単位の輪番停止 (旧ルール)	2015年1月の省令改正 ^{※2} 後の 申込分は全発電所を一律に時間 単位の部分制御 ^{※3} (新ルール)
②日本風力 発電協会提案	・省令改正前後問わず全発電所を一律に時間単位の部分制御 ^{※3} ・年間の出力制御時間を部分制御考慮時間 ^{※4} で管理	

※2 出力制御対象の500kW未満への拡大や時間単位（年間720時間を上限）の出力制御の導入等

※3 発電所を停止させるのではなく、一定の割合出力を制御する（低下させる）こと

※4 制御時間に制御率を乗じた管理値（部分制御時間h＝制御時間h×制御率%）

【風力の接続可能量（2015年度算定値）の算定結果】

前提条件		太陽光の接続可能量	
		【A】558万kW	【B】660万kW
風力の 出力制御方法	① 現行制度	245万kW	102万kW
	②日本風力発電協会提案	305万kW	109万kW